

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅰ類型		日常生活の指導			
目標	(知) 日常生活における基本的習慣を身に付けるため、身辺自立に必要な知識・技能を身に付けるようにする。 (思) 日常生活における課題に対して解決したり、自分が考えたことを表現しようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、望ましい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校時」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。		(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。	学級 個別	143
Ⅰ 学期授業時数					143
2 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校時」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。		(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。	学級 個別	165
2 学期授業時数					165
3 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校時」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。		(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。	学級 個別	77
3 学期授業時数					77
総授業時数					385

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (紙工)			
目 標	(知) 働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。				
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。				
	(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・作業グループについて知る。	(知) 紙工の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2	
	「和紙作り」 ・紙工の工程を確認して作業をする。 ・牛乳パックから丁寧にラミネートをはがす。 ・ラミネートをはがした紙を細かくちぎる。 ・紙を水の分量に注意してミキサーにかける。 ・均一の厚さや形になるように慎重に紙をすく。 ・形が崩れないようローラーなどで水分を取る。 ・封筒、ぼち袋、祝い箸袋などを基本に製品作りをする。 ・社会人講師による指導	(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		75	
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
Ⅰ学期授業時数					78
2 学 期	「製品作り」 ・紙工の工程や製品作りの確認をする。 ・文化祭に向けての製品作りをする。	(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	50	
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭に向けての製品作りをする。 ・看板作り、店出し練習などをする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返し同じ活動をするこてで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		20	
	「製品作り」 ・ピースデパートに向けての製品作りをする。 ・紙すき、製品作りに班分けし、製品作りを行う。 ・社会人講師による指導	(知) 製品作りに必要な技術について知ることができる。 (思) 講師の説明を聞いたり、手本を見たり、一緒に作業をしたりすることを通して、正しい技術を身に付けることができる。 (学) 講師へのあいさつや返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。		19	
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		1	
2学期授業時数					90
3 学 期	「製品作り」 ・みなとフェスタに向けての製品作りをする。	(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を丁寧に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	25	
	「校内実習」	(知) 職場実習や進路学習、作業学習等で体験・学習したことを校内実習に生かす。 (思) 将来の生活に向けて、自分の適性や課題(考える力、協力、持続力、体力、基本的生活習慣)について考える機会とする。 (学) 実習を通して働くことや、普段の生活との違いを知ろうとする態度を養う。		16	
	「1年間のまとめ」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
3学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (手工芸)				
目 標	(知) 働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。					
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。					
	(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。					
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・作業グループについて知る。		(知) 手工芸の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。		グループ 学級	2
	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り ・社会人講師による指導		(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。			75
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
Ⅰ学期授業時数						78
2 学 期	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り		(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		グループ 学級	49
	「文化祭に向けての取組」 ・店出しの内容を考える。 ・看板作り、店出し練習などをする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返し同じ活動を行うことで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したり、お客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。			20
	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り ・ピースデパートに向けての製品作りをする。 ・社会人講師による指導		(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。			20
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ・振り返り		(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。			1
2学期授業時数						90
3 学 期	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り ・みなとフェスタに向けての製品作りをする。		(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		グループ 学級	41
	「1年間のまとめ」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
3学期授業時数						42
総授業時数						210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (染め)				
目 標	(知) 働くために必要な習慣 (挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け) を理解し、活用することができる。					
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。					
	(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。					
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・ のり染めについて知る。 ・ 染めの工程 (のり置き、色描き、のり落とし) に ついて知る		(知) 染めの作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。		グループ 学級	2
	「製品作り」 ・ 自分の担当の作業をする。(のり染め、はさみでの 裁断、貼り付け、裁縫など) ・ 社会人講師による指導 (型友禅)		(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、安全に留意しながら丁寧に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組みようとする気持ちを養う。			75
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・ Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
Ⅰ 学期授業時数						78
2 学 期	「製品作り」 ・ 自分が担当する作業を行う。(のり染め、はさみ での裁断、貼り付け、裁縫など) ・ 社会人講師による指導 (ベンガラ染め) ・ 文化祭に向けての製品を作る。		(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 講師の説明を聞いたり、手本を見たり、一緒に作業をしたりすることを通して、正しい技術を身に 付けることができる。 (学) 講師への挨拶や返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。		グループ 学級	50
	「文化祭に向けての取組」 ・ 文化祭に向けての製品作りをする。 ・ 看板作り、店出し練習などをする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 他者と協力してよりよい製品を作ろうとすることができる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。			20
	「製品作り」 ・ ビースデパートに向けての製品作りをする。 ・ 染色作業、製品作りに班分けし、製品作りを行 う。		(知) 製品作りに必要な技術について知ることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことがで きる。			19
	「2学期のまとめ」 ・ 2学期の活動のまとめ・振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
2 学期授業時数						90
3 学 期	「製品作り」 ・ みなとフェスタに向けての製品作りをする。		(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことがで きる。		グループ 学級	41
	「Ⅰ年間のまとめ」 ・ Ⅰ年間の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) Ⅰ年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
3 学期授業時数						42
総授業時数						210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (農業)				
目 標	(知) 働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。					
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。					
	(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。					
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・土作り、種まき、水やりなどの園芸の作業内容を知る。 ・使用する道具の名前や使い方を知る。		(知) 農業の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。		グループ 学級	2
	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。		(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 繰り返し作業を行うことで準備や作業、片付けに見通しをもって取り組むことができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。			75
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
Ⅰ学期授業時数						78
2 学 期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理や製品作りを学ぶ。		(知) 収穫から販売までの手順や流れを理解することができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		グループ 学級	49
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭の店出し準備をする。 ・文化祭販売用作物の収穫をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理や製品作りを学ぶ。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返し同じ活動をする中で、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。			20
	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。		(知) 収穫から販売までの手順や流れを理解し、身に付けることができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 収穫することや販売することで達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。			20
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
2学期授業時数						90
3 学 期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。		(知) 自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		グループ 学級	25
	「校内実習」 ・しいたけの菌打ち		(知) 職場実習や進路学習、作業学習等で体験・学習したことを校内実習に生かす。 (思) 将来の生活に向けて、自分の適性や課題(考える力、協力、持続力、体力、基本的生活習慣)について考える機会とする。 (学) 実習を通して、働くことや普段の生活との違いを知ろうとする態度を養う。			16
	「1年間の振り返り」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り」		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
3学期授業時数						42
総授業時数						210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年		生活単元学習	①社会「子どもに伝えたい春夏秋冬 和の行事を楽しむ絵本」(永岡書店) ②地図「空から日本地図えほん」(株式会社世界文化社) ③理科「講談社の動く図鑑moveはじめてのずかん しよくぶつ」(講談社) ④家庭「坂本眞子のひとりでクッキング⑦おべんどうを作ろう」(信成社) ⑤道徳「絵でわかることのせいかつずかん4 おつきあいのきほん」(合同出版) ⑥外国語「えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」(あかね書房)			
単一Ⅰ類型						
目標	(知) 身近な社会との関わりに気付くとともに、社会生活に必要な基礎的な能力と態度を身につけるようにする。					
	(思) 日常生活に関係の深い事柄に関心をもちとともに、課題や解決策に付きき、考えたことを表現しようとする。					
	(学) 明るく豊かな家庭生活の大切さに気付くとともに、現在や将来の生活に生かす実践的な態度を養う。					
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ学期	「Ⅰ学期の行事について知ろう」 ・Ⅰ学期の行事を知り、見通しをもつ。	①	(知) Ⅰ学期の行事や取組について知ることができる。 (思) 学校生活に見通しをもち、楽しみなどや特に頑張りたいことなどを表現することができる。 (学) 学校生活に期待感をもち、他者との集団生活を意識しようとする態度を養う。	学級	1	
	「季節を感じよう」 ・季節の植物や食物、動物について知り、春見つけを行う。		(知) 季節の植物や食物、動物の名前や特徴を知ることができる。 (思) 学習した季節の植物や動物に興味をもち、春を見つけていけることができる。 (学) 春の植物や動物を見つて、季節を感じようとする態度を養う。	学級	2	
	「人との関わりを基本的なルールとマナーについて知ろう」 ・挨拶、清潔、人との関わり方についてのルールを確認する。	①⑤	(知) 人との関わりを基本的なルールとマナーについて知ることができる。 (思) 身につけたルールやマナーを実践しながら自分の思いを表現することができる。 (学) 人との関わりにおいて、より良い人間関係を形成しようとする態度を養う。	学級	5	
	「野菜を育てよう(Ⅰ)」 ・植物の栽培・観察・収穫を行う。	③	(知) 野菜の名前や特徴、栽培方法を知ることができる。 (思) 野菜の栽培や観察を通して、生長に必要な事柄を考えたり表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重しようとする態度を養う。	学級	5	
	「英語に親しもう(Ⅰ)」 ・英語の学習をする。(挨拶、身の回りの英語) ・言葉の練習、歌、カードゲームやコミュニケーションゲーム ・自己表現活動	⑥	(知) 日常生活で用いる簡単な表現を知ることができる。 (思) 学習した事柄を用いて、他者とコミュニケーションを取り、自分のことを表現することができる。 (学) 外国語の文化や風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	2	
	「学校周辺を探索しよう」【校外学習】 ・公共のルールやマナー、学校周辺の施設を確認する。	①②	(知) 公共のルールやマナーについて知り、学校周辺探索について活動の流れの見通しをもつことができる。 (思) 学習したルールやマナーを意識しながら校外学習を行い、学校周辺の施設を確認することができる。 (学) 公共のルールやマナーを知ること、社会生活における一員であることを理解した上で生活を送ろうとする態度を養う。	類型学級	4	
	「お楽しみ会をしよう(Ⅰ)」 ・準備や当日の役割を決め、練習をする。		(知) 活動内容や活動時のルール、マナーを知り、見通しをもつことができる。 (思) 準備段階における作業や当日の自分の役割について見通しをもち、責任をもって取り組む姿を表現することができる。 (学) 仲間と協力して活動したり、ルールやマナーを意識して集団参加したりする態度を養う。	類型学級	5	
	「Ⅰ学期を振り返ろう」 ・Ⅰ学期を振り返り、頑張りを認め合う。		(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1	
	「大掃除をしよう(Ⅰ)」 ・大掃除の分担を決め、教室や廊下の清掃を行う。		(知) 掃除道具の使い方やコツについて知ることができる。 (思) 掃除をする場所の汚れについて気付いたり、考えたりすることができる。 (学) 学期末を意識し、住空間を快適に整えようとする態度を養う。	学級	1	
Ⅰ学期授業時数					26	
Ⅱ学期	「Ⅱ学期の行事について知ろう」 ・Ⅱ学期の行事について知り、見通しをもつ。	③	(知) Ⅱ学期の行事や取組について知ることができる。 (思) 学校生活に見通しをもち、楽しみなどや特に頑張りたいことなどを表現することができる。 (学) 学校生活に期待感をもち、他者との集団生活を意識しようとする態度を養う。	学級	1	
	「野菜を育てよう(Ⅱ)」 ・植物の栽培・観察・収穫を行う。		(知) 野菜の名前や特徴、栽培方法を知ることができる。 (思) 野菜の栽培や観察を通して、生長に必要な事柄を考えたり表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重しようとする態度を養う。	学級	7	
	「食事について考えよう」 ・バランスが取れた食事について考える。 ・秋や冬の果物や野菜について知る。 ・秋や冬の野菜を使った食べ物を知る。	④	(知) 食品の種類とその特徴、栄養と栄養素について理解することができる。 (思) 好ましい食習慣について考えることができる。 (学) 給食のメニューの中で季節の果物や野菜を見付けて、大切に思いながら楽しんで食べる態度を養う。	学級	4	
	「クラフト・小物作りをしよう」 ・自分で製作できる作品を作る。		(知) 作業内容を理解し、道具を安全に使用することができる。 (思) 工程通りに作業したり、自分の思いを細み込みながら製作したりすることができる。 (学) 製作工程を理解し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級	4	
	「選挙について知ろう」【主権者教育】 ・選挙と選挙権について知る。		(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の同意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的な学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学級	2	
	「英語に親しもう(Ⅱ)」 ・英語の学習をする。(挨拶、身の回りの英語) ・言葉の練習、歌、カードゲームやコミュニケーションゲーム ・自己表現活動	⑥	(知) 日常生活で用いる簡単な表現を知ることができる。 (思) 学習した事柄を用いて、自分のことを表現したり、他者とコミュニケーションを取ったりすることができる。 (学) 外国語の文化や風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	2	
	「洗濯をしよう」 ・洗濯機など電化製品について学ぶ。 ・清潔が健康につながることを知る。	①	(知) 洗濯機など電化製品について知ることができる。 (思) 電化製品についてどのようにすればよいかを考えることができる。 (学) 清潔や健康を保持した生活を送ることを意識する態度を養う。	学級	2	
	「お楽しみ会をしよう(Ⅱ)」 ・準備や当日の役割を決め、練習をする。		(知) 活動内容や活動時のルール、マナーを知り、見通しをもつことができる。 (思) 準備段階における作業や当日の自分の役割について見通しをもち、責任をもって取り組む姿を表現することができる。 (学) 仲間と協力して活動したり、ルールやマナーを意識して集団参加したりする態度を養う。	類型学級	6	
	「Ⅱ学期を振り返ろう」 ・Ⅱ学期を振り返り、頑張りを認め合う。		(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1	
「大掃除をしよう(Ⅱ)」 ・大掃除の分担を決め、教室や廊下の清掃を行う。		(知) 掃除道具の使い方やコツについて知ることができる。 (思) 掃除をする場所の汚れについて気付いたり、考えたりすることができる。 (学) 年末を意識し、住空間を快適に整えようとする態度を養う。	学級	1		
Ⅱ学期授業時数					30	
Ⅲ学期	「Ⅲ学期の行事について知ろう」 ・Ⅲ学期の行事を知り、見通しをもつ。	③	(知) Ⅲ学期の行事や取組について知ることができる。 (思) 学校生活に見通しをもち、楽しみなどや特に頑張りたいことなどを表現することができる。 (学) 学校生活に期待感をもち、他者との集団生活を意識しようとする態度を養う。	学級	1	
	「正月の行事や遊びを知ろう」 ・かるたや風揚げ、正月の行事などを知る。		(知) 日本の伝統行事である正月について知ることができる。 (思) 実際にかるたや風揚げなどの正月遊びを体験し、伝統行事の在り方を考えることができる。 (学) 日本の伝統行事に触れ関心をもち、主体的に学ぶ態度を養う。	学級	2	
	「ICTについて知ろう」 ・ICT機器を使ってみる。 ・ICT機器の利用について考える。	①②	(知) 身近にあるICT機器について、利用方法を知ることができる。 (思) 実際にICT機器を操作したり、利用することで予想される影響について考えたりすることができる。 (学) ICT機器の正しい使い方を知り、責任ある行動をしようとする態度を養う。	学級	5	
	「公共交通機関を利用しよう」【校外学習】 ・公共交通機関や公共の場所でのマナーについて学ぶ。 ・校外学習の振り返りを行う。		(知) 公共のルールやマナーについて知り、校外学習について活動の流れの見通しをもつことができる。 (思) 公共交通機関や施設を利用する校外学習のなかで学習したルールやマナーを意識しながら行動することができる。 (学) 公共のルールやマナーを知ること、社会生活における一員であることを理解した上で生活を送ろうとする態度を養う。	学級	4	
	「Ⅲ学期を振り返ろう」 ・Ⅲ学期を振り返り、頑張りを認め合う。		(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1	
	「大掃除をしよう(Ⅲ)」 ・大掃除の分担を決め、教室や廊下の清掃を行う。		(知) 掃除道具の使い方やコツについて知ることができる。 (思) 掃除をする場所の汚れについて気付いたり、考えたりすることができる。 (学) 年度末を意識し、住空間を快適に整えようとする態度を養う。	学級	1	
Ⅲ学期授業時数					14	
総授業時数					70	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		国語科	①国語「こくご☆☆☆」（東京書籍）		
目標	(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「友達にインタビューしよう」 ・ 友達の名前、好きな物、苦手な物等を発表する。	①	(知) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方など注意して話すことができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	3
	「本の借り方を知ろう」【読書指導】 ・ 図書コーナーの使用方法を知り、好きな本を選んで借りる。		(知) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		1
	「いろんな文を読もう1」 ・ 登場人物の簡単な言葉の中からイメージをもつ。 ・ 内容を理解する。 ・ わからない語彙の意味を辞書で調べる。		(知) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		6
	「体育祭の思い出を書こう」 ・ 言葉を可視化して（写真を選び説明する）内容の理解を図る。 ・ いつ、どこで、だれが、何を、どうした、を明確に書く。		(知) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		3
Ⅰ学期授業時数					13
2学期	「挨拶や会話をする力を高めよう」 ・ 日常生活に必要な挨拶や会話文について考え、実践する。 ・ 相手の話を聞き、答える方法について知る。 ・ によってどのように言ったらよいか考える。	①	(知) 日常生活で人とのやり取りを通して、人や事物との関わりの中で必要とされる言葉を理解したり、適切に使ったりすることができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語で考えたり、自分の見聞きたしたことや経験を様々な相手と気持ちなどを共有するために伝え合う力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	3
	「いろんな文を読もう2」 ・ 図や写真のある文章を読みイメージをもつ。 ・ 内容を理解する。		(知) 比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解し使うことができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		6
	「文化祭の思い出を書こう」 ・ 言葉を視覚化して感情や様子を表す言葉の理解を図る。		(知) 社会生活に関わる人とのやり取りを通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		3
	「文字や言葉を知ろう1」 ・ 平仮名、片仮名、漢字、アルファベット、ローマ字など。 ・ かるた作りなど。		(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		3
2学期授業時数					15
3学期	「書初めをしよう1」 ・ 筆を使って書き初めをする。	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	2
	「文字や言葉を知ろう2」 ・ 平仮名、片仮名、漢字、アルファベット、ローマ字など。 ・ かるた作りなど。		(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		2
	「いろんな文を読もう3」 ・ 登場人物の簡単な言葉の中からイメージをもつ。 ・ 物語や詩の内容を理解する。		(知) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。		3
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		数学科	①数学「さんすう☆☆☆」（文部科学省）		
目標	（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 （思）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 （学）数学的活動の楽しさや数学の良さに気づき、学習を振り返ってより良く問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「数と計算の学習をしようⅠ」【数と計算】 ・ まとまりに分割して数えること（千までの数） ・ 色や形、大きさなどに分類して数えること（千までの数） ・ 3位数の表し方について理解すること ・ 2位数＋2位数、2位数－2位数 ・ 筆算(加法・減法) ・ 計算機を使用した計算(加法・減法)	①	（知）3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。 （思）数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方など筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	8
	「図形の学習をしよう」【図形】 ・ 色や形、大きさなどに分類すること ・ 直線、三角形、四角形、正方形、長方形、円などについて知ること ・ 正方形や長方形などを作ったり、分解したりすること		（知）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 （思）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。 （学）図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		5
Ⅰ学期授業時数					13
2 学期	「数と計算の学習をしようⅡ」【数と計算】 ・ 乗法が用いられる場合や意味について知ること ・ 乗法の簡単な性質の理解 ・ 金銭の数え方を知ること ・ 金種を理解すること ・ 金銭の支払い方を知ること ・ 簡単な買物学習を通して金銭を取り扱うこと	①	（知）3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。 （思）数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	8
	「測定の学習をしよう」【測定】 ・ 長さ、重さ、高さ、広さの量の大きさを知ること ・ 目盛の原点を対象の端に当てて測定すること ・ 長い、短い、重い、軽いを知ること ・ 時刻の読み方を理解すること ・ 時間、分を理解すること ・ 昨日、今日、明日などを理解すること ・ カレンダー		（知）身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。 （思）身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。 （学）数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		7
2学期授業時数					15
3 学期	「データを活用しよう」【データの活用】 ・ 具体物を対応させること ・ 色、形、大きさを見分けること ・ 色、形、大きさを組み合わせること ・ 簡単な絵や記号で表やグラフを作ること	①	（知）身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決に用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。 （思）身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。 （学）データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年		音楽科	①音楽「音楽☆☆☆☆☆」(文部科学省)		
単一Ⅰ類型					
目標	(知) 曲名や曲想と音楽の構造等との関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 (学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動の楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「校歌を歌おう」 ・ 校歌の範唱を聴き、歌う活動 ・ 校歌の歌詞やメロディーを覚えて歌う活動	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 器楽の活動を通して、多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい音色で演奏するために必要な技能を身に付けたりすることができる。	類型 学級	2
	「手話歌をしよう」 ・ 手話をういた歌唱活動	①	(知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴やリズムパターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付く、思いや意図にふさわしい表現にするために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 身体表現活動を通して、曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい表現にするために必要な技能を身に付けたりすることができる。		2
	「季節の歌を歌おう(春・夏)」 ・ 春・夏を感じることができる曲を歌う活動	①	(知) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見いだし曲全体を味わって聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解することができる。		3
	「リズムを楽しもう」 ・ いろいろなリズムを知り、身体で表現する活動 ・ 音楽に合わせ、楽器でリズム打ちをする活動	①	(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (思) 器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。		5
	「鑑賞」 ・ 音楽を鑑賞する活動	①	(思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし聴いたり、曲想と音楽の構造等との関わりについて分かる。 (学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。		1
Ⅰ学期授業時数					13
Ⅱ学期	「季節の歌を歌おう(秋・冬)」 ・ 秋・冬を感じることができる曲を歌う活動	①	↓	類型 学級	5
	「リズムに合わせて体を動かそう」 ・ 音楽のリズムを感じながら体の動きを模倣する身体表現	①			4
	「楽器で演奏しよう」 ・ 歌に合わせて、手拍子でリズムを取る活動 ・ 伴奏に合わせて合奏	①			4
	「鑑賞」 ・ 音楽を鑑賞する活動	①			2
Ⅱ学期授業時数					15
Ⅲ学期	「合唱に取り組もう」 ・ 歌詞を見ながら伴奏に合わせて歌う活動 ・ 発声を意識しながら無理のない声で歌う活動	①		類型 学級	2
	「心を込めて歌おう」 ・ 卒業証書授与式に向けての歌の練習	①			3
	「鑑賞」 ・ 音楽を鑑賞する活動	①			1
	「まとめをしよう」 ・ 1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動	①			1
Ⅲ学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		美術科	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解はじめての絵画」(小学館)		
目標	(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を見だし、創造的に表すことができる。 (思) 豊かに発想して構想を練ったり、文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。 (学) 主体的に活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「モダンテクニック」 ・ ドリッピングやパチックなどのモダンテクニックの理解と表現 ・ 筆やスタンプなどの道具を用いた表現 ・ 作品の鑑賞、展示	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を理解して操作し、作品を仕上げる ことができる。 (思) いろいろな技法を使い、自分で工夫しながら表現することができる。 (学) いろいろな技法を理解し、制作する活動を通して創造する喜びを味わう ことができる。	学級	7
	「学校を描こう」 ・ 基本的な画材を用いた絵画の制作 ・ 描く対象を決め鉛筆で描写 ・ 水彩絵の具や色鉛筆などを用いて着色 ・ 作品の鑑賞・展示	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、対象を捉えて線描などで表現し彩色する ことができる。 (思) 身近にある建物の全体や一部をモチーフとしてよく観察して描き、表現 することができる。 (学) 基本的な描画技法を理解し、制作活動を通して創造する喜びを味わうこ とができる。	学級	6
Ⅰ学期授業時数					13
2学期	「絵画の制作」 ・ モダンテクニックを用いたマイケースの制作 ・ 構図やテーマの検討 ・ ドリッピングやパチックなどのモダンテクニックを用いた表現 ・ 様々な道具や材料を用いた制作活動 ・ 作品の鑑賞、展示	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を理解して操作し、作品を仕上 げることができる。 (思) 絵画の構図を考え、技法や道具を工夫して表現することができる。 (学) いろいろな技法を理解し、制作する活動を通して創造する喜びを味わう ことができる。	学級	8
	「立体物の制作」 ・ デザインやテーマの検討 ・ 紙粘土を用いた立体作品の制作 ・ 作品の鑑賞、展示	①	(知) 粘土の性質を理解し、用途に合わせて選択した道具を扱って、粘土を形 成することができる。 (思) 完成をイメージしながらデザイン画を描き、表現することができる。 (学) 貯金箱作りやお面作りに自発的に取り組み、制作する活動を通して創造 する喜びを味わうことができる。	学級	7
2学期授業時数					15
3学期	「墨で描く」 ・ 墨や筆を用いた表現の理解、体験 ・ デザインやテーマの検討 ・ 墨や筆を用いて色紙や巻物に描く ・ 作品の鑑賞、展示	①	(知) 墨と筆の性質や扱い方を理解し、和紙に絵を描くことができる。 (思) 絵の構成を考え、墨の濃淡や、線の太さ、鮮やかさなどを生かして表現 することができる。 (学) 独特の味わいや美しさを表現するために工夫しながら描き、創造する喜 びを味わうことができる。	学級	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

学部・学年 類型		教科等	教科書				
高等部 第1学年		保健体育	① 保健体育「めくってはっけん からだのふしぎ」(学研)				
単一Ⅰ類型							
目標	(知) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。						
	(思) 各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。						
	(学) 各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。						
期	単元名・指導内容		教科書	単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「体づくり運動(体育祭の取組)」 ・学年種目練習(玉入れ、サーキットなど) ・入退場練習		①	(知) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をする態度を養う。		学年 類型	16
	「ニュースポーツ」 ・ボッチャ ・フライングディスク ・モルックなど		①	(知) ニュースポーツの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) ニュースポーツについての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツに積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動する態度を養う。		類型	4
	「体づくり運動(新体力テスト)」 ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・50m走 ・20mシャトルラン ・反復横跳び ・立ち幅跳び ・ハンドボール投げ		①	(知) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をする態度を養う。		類型	4
	「水泳運動」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロールなど		①	(知) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思) 水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動する態度を養う。		類型	2
Ⅰ学期授業時数							26
2 学 期	「水泳運動」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロールなど		①	(知) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思) 水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動する態度を養う。		類型	4
	「球技」 ・ゴール型(バスケットボール、サッカー、ポートボールなど) ・ネット型(バレーボール、卓球、バドミントンなど) ・ベースボール型(Tボールなど)		①	(知) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) 球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動する態度を養う。		類型	16
	「保健(性の学習)」 ・体の名称 ・男女の体の変化など		①	(知) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。 (思) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。		類型	4
	「ダンス」 ・フォークダンス ・創作ダンス ・リズムダンスなど		①	(知) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすること。 (思) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (学) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動すること。		類型	6
2学期授業時数							30
3 学 期	「陸上競技」 ・短距離走 ・リレーなど		①	(知) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し基本的な技能を身に付けることができる。 (思) 陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をする態度を養う。		類型	6
	「体づくり運動(体育祭の取組)」 ・学年種目練習(体操、組体操など)		①	(知) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をする態度を養う。		学年 類型	8
3学期授業時数							14
総授業時数							70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		職業科	① 職業「絵でわかるこどものせいかつずかん」のまわりのきほん」（合同出版）		
目 標	(知) 職業について関心をもち、将来の生活や職業に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。				
	(学) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の予定 ・自分の得意なことや頑張っていることを考える	①	(知) 職場見学や仕事模擬体験、校内実習等の学習に見通しをもつことができる。 (思) 学級での係や当番等、自分や仲間が頑張っていることを言葉や文字、イラストなどで表現することができる。 (学) 自分の得意なことや頑張っていることが仲間や学級に役に立っていることを実感し、主体的に係や当番の仕事をする意欲を養う。	学級	1.5
	「将来の生活について知ろう(Ⅰ)」 ・事前学習 ・職場見学【校外学習】 ・事後学習	①	(知) 様々な仕事の種類や内容、働く上で求められる事柄について知ることができる。 (思) 見学をした感想を、「職場見学ノート」で表現することができる。 (学) 計画に基づいて安全に留意し、見学先の方との交流を通して社会参加や作業経験を行い、安全やマナーを意識して行動する態度を養う。	類型	5
Ⅰ学期授業時数					6.5
2 学 期	「将来の生活について知ろう(2)」 ・事前学習 ・仕事模擬体験 ・事後学習	①	(知) 職業に関する関心を高め、様々な仕事の種類や内容を体験することで生産活動に関わる技能を知ることができる。 (思) 仕事模擬体験の実践的、体験的な活動を繰り返し行うことで見通しをもち、時間いっぱい取り組むことができる。 (学) 手本や手順書を見て、積極的に仕事に取り組む姿勢を養う。	類型 学級	4
	「校内実習事前学習」 ・グループ発表、顔合わせ ・グループ活動、準備	①	(知) 校内実習の目的、日程、仕事内容(作業種目)、仕事場所を知ることができる。 (思) 校内実習の作業グループの目的を考えて伝え、自分の目標を決めることができる。 (学) 仕事内容の作業種目や役割を知り、校内実習の見通しをもち意欲を高めることができる。	類型 学級	3.5
2学期授業時数					7.5
3 学 期	「校内実習事前学習」 ・グループ活動、準備	①	(知) 自分の仕事や役割を理解して、仲間と協力をして活動や準備を行うことができる。 (思) 手順書を見たり、仲間や教師と相談したりしながら作業の知識や技能を知り、活用していくことができる。 (学) 校内実習の自分の仕事内容を理解して、安全に留意して自主的に取り組むことができる。	類型 学級	1.5
	「校内実習事後学習」 ・事後学習	①	(知) 校内実習で学習したことが、高2での職場体験実習につながることを知ることができる。 (思) 「実習ノート」に自分の成果と課題を記入し、発表したり仲間の発表を聞いたりして、今後の学校生活での取組を考えることができる。 (学) 校内実習で自分が頑張ったこと、難しかったことを振り返り仕事を通して得られた達成感を実感することができる。	類型 学級	1
	「1年間のまとめ」 ・2年生に向けて	①	(知) 校内実習と2年生の職場体験実習の違いを知り、学校以外での地域の事業所で実習を行うことを知ることができる。 (思) 自分の得意なことや課題を考え、2年生での学習に活かすことができるよう考えることができる。 (学) 1年間の進路学習を通して、自分に合った仕事や、仕事をしながら生活することについて、体験して積み上げてきたことを振り返ることができる。	学級	1
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		特別活動			
目標	(知) 集団行動や活動、仲間と協力する意義について知る。 (思) より良い学校生活を築くために、お互いに理解し合うための行動について考える。 (学) 集団の中で、仲間と関わり合いながらコミュニケーションの力を高め、社会性や協調性を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「学級組織づくり」 ・自己紹介、学級組織づくりを行う。 ・Ⅰ学期の個人目標を決める。	(知) 新しい仲間やⅠ学期の取組内容と学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活を集団で取り組むために、話し合いて自分の思いを表現したり、仲間の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	3
	「学級活動」 ・学級での活動の内容や計画について確認や話し合いをする。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		学級	6
	「集会活動」 ・新入生歓迎会などの活動を行う。	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見だし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学部 類型	2
	「Ⅰ学期の振り返りと夏休みの生活」 ・Ⅰ学期を振り返る。 ・夏休みの生活について確認する。	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標に向けて取り組めたかを考えることができる。 (思) 自分の役割や自分の目標を振り返り、課題を見いだすことができる。 (学) 学校生活や学習への取組について振り返り、自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	2
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「学級組織づくり(2)」 ・2学期の個人目標を決める。	(知) 2学期の取組内容と学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活を集団で取り組むために、話し合いて自分の思いを表現したり、仲間の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	1
	「学級活動」 ・学級での活動の内容や計画について確認や話し合いをする。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		学級	6
	「修学旅行の取組」 ・修学旅行での見学について話し合いをする。	(知) 修学旅行の内容について知り、活動の充実に向けて、学級での自分の役割について考えることができる。 (思) 修学旅行における活動のために、話し合いて自分の思いを表現したり、仲間の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	3
	「文化祭の取組」 ・文化祭の活動や計画について知る。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		学級	2
	「生徒会選挙に向けての取組」 ・生徒会の選挙について知る。	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的な学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。		学部 学級	1
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」 ・2学期を振り返る。 ・冬休みの生活について確認する。	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標に向けて取り組めたかを考えることができる。 (思) 自分の役割や自分の目標を振り返り、課題を見いだすことができる。 (学) 学校生活や学習への取組について振り返り、自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	2
2学期授業時数					15
3 学 期	「学級組織づくり(3)」 ・3学期の個人目標を決める。	(知) 3学期の取組内容と学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活を集団で取り組むために、話し合いて自分の思いを表現したり、仲間の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	1
	「学級活動」 ・活動内容や計画について確認や話し合いをする。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		学級	3
	「生徒会選挙に向けての取組」 ・生徒会の選挙についての手順を知り、投票を行う。	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的な学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。		学部 類型	1
	「集会活動」 ・3年生を送る会などの集会を行う。	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見だし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学部 類型	1
	「Ⅰ年間の振り返り」 ・Ⅰ年間で振り返る。	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標に向けて取り組めたかを考えることができる。 (思) 自分の役割や自分の目標を振り返り、課題を見いだすことができる。 (学) 学校生活や学習への取組について振り返り、自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		自立活動			
目標	(知) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。 (思) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付ける。 (学) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な学びに向かう力、人間性を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「個々の課題」 6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 (1) 健康の保持 ・ストレッチ、バランスボール、ラジオ体操など (2) 心理的な安定 ・音楽鑑賞、描画、読書、トランポリンなど (3) 人間関係の形成 ・ゲーム(カードゲーム、風船パレー)など (4) 環境の把握 ・スケジュールの読み取り、危険認知の学習など (5) 身体の動き ・ビーズ通し、ひも結び、型はめなど (6) コミュニケーション ・言葉の理解、感情の理解、絵・写真・文字カードの理解、身振りサインの理解、会話のルール・マナーなど ※個別の指導計画で設定した年間目標・短期目標の達成を目指し、個々の課題を設定していく。		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、生徒が興味をもって自分の課題に取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、成就感を味わいながら仲間と協力することができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、自己を肯定的に捉え、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別	39
					39
2 学 期	「個々の課題」 6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 (1) 健康の保持 ・ストレッチ、バランスボール、ラジオ体操など (2) 心理的な安定 ・音楽鑑賞、描画、読書、トランポリンなど (3) 人間関係の形成 ・ゲーム(カードゲーム、風船パレー)など (4) 環境の把握 ・スケジュールの読み取り、危険認知の学習など (5) 身体の動き ・ビーズ通し、ひも結び、型はめなど (6) コミュニケーション ・言葉の理解、感情の理解、絵・写真・文字カードの理解、身振りサインの理解、会話のルール・マナーなど ※個別の指導計画で設定した年間目標・短期目標の達成を目指し、個々の課題を設定していく。		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、生徒が興味をもって自分の課題に取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、成就感を味わいながら仲間と協力することができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、自己を肯定的に捉え、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別	45
2学期授業時数					45
3 学 期	「個々の課題」 6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 (1) 健康の保持 ・ストレッチ、バランスボール、ラジオ体操など (2) 心理的な安定 ・音楽鑑賞、描画、読書、トランポリンなど (3) 人間関係の形成 ・ゲーム(カードゲーム、風船パレー)など (4) 環境の把握 ・スケジュールの読み取り、危険認知の学習など (5) 身体の動き ・ビーズ通し、ひも結び、型はめなど (6) コミュニケーション ・言葉の理解、感情の理解、絵・写真・文字カードの理解、身振りサインの理解、会話のルール・マナーなど ※個別の指導計画で設定した年間目標・短期目標の達成を目指し、個々の課題を設定していく。		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、生徒が興味をもって自分の課題に取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、成就感を味わいながら仲間と協力することができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、自己を肯定的に捉え、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別	21
3学期授業時数					21
総授業時数					105

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 単一Ⅰ類型		総合的な探究の時間			
目標	(知) 計画の基づいて行動し、仲間と協力して活動することの大切さを知る。 (思) 自分をよく知り、仕事、生活について学び、自分の将来に関心をもち、自分を表現する力を養う。 (学) 自分の将来のことを考え、働くことや余暇活動に興味関心をもって行動することができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「総合的な探究の時間について知ろう」 ・オリエンテーション	(知) 1年間の総合的な探究の時間についての大切さを理解することができる。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考えることができる。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ、意欲・関心を高めることができる。	類型 学級	1	
	「学校探索をしよう」 ・情報収集・整理分析・まとめ、発表	(知) 自分の教室の位置、学習で使用する教室などを確認することで教室の目的を知ることができる。 (思) 校内に何があるかを調べ、それを地図にすることで位置関係を理解することができる。 (学) 作った地図をもとに発表をし合う。各教室の役割を理解することができる。	類型 学級	1.5	
	「自分について調べよう」 ・情報収集・整理分析・まとめ、発表	(知) 自分について得意なことや頑張っていることを他者から聞くことで自分について知ることができる。 (思) 自分の得意なことや頑張っていることについて考え、言葉や文章に表すことができる。 (学) 自分の得意なことや頑張っていることまとめたものをもとに発表し、評価を受けることができる。	類型	4	
Ⅰ学期授業時数					6.5
2 学 期	「平和学習」	(知) 過去の歴史を振り返ることで平和の大切さを知ることができる。 (思) 原子爆弾が投下された事実を知り、当時の人々の思いを感じとることができる。 (学) 戦争の恐ろしさを知り、平和であることの尊さを感じ、自分の考えをまとめたものを発表、表現することができる。(歌唱、折り鶴を折るなど)	類型 学級	5.5	
	「国際理解学習」 ・外国の文化について知る。 ・会話や音楽など体験・交流をする。	(知) 世界の文化に触れることで、国際理解学習の必要性について知ることができる。 (思) 世界の言語や音楽、食文化などを知り、見聞を広めることができる。 (学) 国際理解学習について興味関心を深めることができる。	学年 類型 学級	2	
2学期授業時数					7.5
3 学 期	「広島について調べよう」 ・情報収集、体験 ・整理、分析 ・まとめ、発表	(知) 学校周辺にはどんなものがあるかを知り関心を高めることができる。 (思) 学校周辺にある店などを調べ地図を作ることで理解を深めることができる。 (学) 調べた内容をまとめ、発表し合い交流することで視野を広げることができる。	学年 類型 学級	3.5	
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5